Nagaoka Archives　　平成18(2006)年7月1日発行

長岡あーかいぶす　第2号

発行/長岡市立中央図書館文書資料室　http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/monjo/index.htm

▲「地震之節小屋住居之図」(「懐旧雑誌」中巻)

所蔵資料紹介（2）
相沢富士雄家文書

641点。江戸時代後期から昭和期。長岡市出身で日本互尊社理事長などを務めた反町栄一氏の旧蔵資料が中心である。反町氏の親族である相沢富士雄氏より平成11年に長岡市へ寄託。平成16年に長岡市へ寄贈された。

その中に幕末の長岡藩の武家や庶民の生活の様子を、元藩士の小川當知が記録した「懐旧雑誌」がある。上巻（目録№532）には藩主牧野氏と長岡藩のことを、中巻（№533）には天変地異などを、下巻（№534）には幕末・維新期の藩政や戊辰戦争などを記録している。色鮮やかで豊富な絵図が載せられており、江戸時代の人々の暮らしが伝わってくる。

写真は、文政11（1828）年の大地震の記録である。長岡市域でも大きな被害があり、家が潰れて仮の小屋住居を建てたことなどが記されている。

その他、反町氏が山本五十六と交流があったことから、山本五十六や長岡藩家老・山本家に関する資料などもある。

（小林良子）

【参考文献】

・長岡市史双書№32『反町栄一日記』
・長岡市史双書№35『長岡懐旧雑誌』
・長岡市史双書№44『長岡城之面影』

文書資料室の魅力（２）
多彩な行事に参加してみませんか？

文書資料室の魅力の一つである行事の数々をご紹介します。多彩な講師のお話により、郷土の歴史を様々な視点から探ることができます。お気軽にご参加下さい。

☆前期の参加者募集☆

『長岡市政 100 年のあゆみ』を読む会

～市政 100 年の歴史を知ろう！～

『長岡市政 100 年のあゆみ』をテキストに、市町村合併をはじめ、中核都市を目指す長岡市の近現代史を探る講座です。執筆者を講師に、前期（７月から）と後期（９月末から）の２期に分けて開催します。現在、下記のとおり前期日程の参加者を募集中です。

前期の日程

月/日	主　な　内　容	講　師
7/18(火)	水道タンクの誕生	関哲生さん
8/8(火)	工業立市宣言	内山弘さん
8/29(火)	「米百俵」と長岡の教育	今井雄介さん
9/5(火)	雪害から克雪・利雪へ	田邊幹さん
9/19(火)	史跡探訪バスツアー	文書資料室員

時間　午後２時～午後３時 30 分
（バスツアーは午後１時～午後４時）

会場　互尊文庫３階会議室

参加費　無料。『長岡市政 100 年のあゆみ』を購入のうえ、持参してください。

定員　４０人(抽選)

申し込み　往復はがきの往信の裏に「長岡市政 100 年のあゆみを読む会」・住所・氏名・電話番号を、返信の表に郵便番号・住所・氏名を記入し、文書資料室へ。締め切りは、７月 12 日(水)です。

☆毎月開催☆

チャレンジ！古文書 *－参加者募集中－*

～古文書は初めてという方へ～

古文書をじっくりと楽しむための初心者向け講座です。古文書に関心があるけれど、ひとりで始めるには心細いという方にピッタリです。食べ物などの簡単なくずし字をテキストに読み進めます。「市政出前講座」として、公民館や町内会、ＰＴＡ、各種団体・サークルの学習会への出張講座も可能です。

▲チャレンジ！古文書（６月４日、互尊文庫）
少人数だから気軽に質問ができます。

７月・８月の開催予定

７月 12 日(水)午後２時～３時　中央図書館
８月６日(日)午後２時～３時　互尊文庫

古文書解読講座 *－今年度の募集は終了しました－*

～古文書から探る江戸時代の長岡～

長岡郷土史研究会と共催で実施している古文書解読講座です。5 月から第２・４木曜日の夜、全 12 回で開催しています。長岡の年中行事を文と絵で著わした『長陵歳時記』(小川當知著)、天保期の政治と文化に関する蔵王･安禅寺文書から江戸時代をひもときます。

5 月 11 日開催の第１回講座では、古文書解読の楽しみを伝えようと、江戸時代の料理をテーマに小林良子さんが講師を務めました。参加した 50 名の受講生は、周りの参加者と相談しながら、テキストの解読に挑戦していました。

▲古文書解読講座（５月 11 日、中央公民館）
回答と見比べて一喜一憂。

各行事に興味のある方は、
お気軽に文書資料室まで
お問い合わせ下さい！
(TEL0258-36-7832)

（星純子）

数字にみる平成17年度の文書資料室

《閲覧室》

月	利用者数(人)	男	女
4月	64	53	11
5月	90	78	12
6月	109	88	21
7月	75	66	9
8月	97	70	27
9月	66	54	12
10月	92	79	13
11月	65	60	5
12月	47	40	7
1月	38	32	6
2月	29	22	7
3月	37	33	4
合計	809	675	134

《行事》

長岡市史双書を読む会

※テキスト『三島億二郎日記(4)』(№40)

回数	月/日	講　師	受講者数(人)
第1回	5/24	古田島吉輝さん	36
第2回	6/7	田所和雄さん	32
第3回	6/21	稲川明雄さん	37
第4回	7/5	田所和雄さん	35
第5回	7/19	田中洋史さん	29
第6回	8/30	田所和雄さん	28
第7回	9/13	小林良子さん	31
第8回	9/27	本山幸一さん	25
第9回	10/11	古田島吉輝さん	31
第10回	11/25	古田島吉輝さん	29
合　計			313

チャレンジ！古文書

開催月	受講者数(人)	男	女
7月	16	8	8
8・9月	15	9	6
10月	19	8	11
11･12月	25	10	15
1・2月	30	14	16
3月	28	12	16
合　計	133	61	72

古文書解読講座

※テキスト『古文書にみる長岡のすがた(四)』(「長陵歳時記」、安禅寺文書)

回	月/日	講　師	受講者数(人)
第1回	4/14	田中洋史さん	57
第2回	4/28	古田島吉輝さん	53
第3回	5/12	今井雄介さん	49
第4回	5/26	古田島吉輝さん	42
第5回	6/9	菊入喜三郎さん	45
第6回	6/23	今井雄介さん	42
第7回	7/24	田所和雄さん	49
第8回	7/28	菊入喜三郎さん	33
第9回	8/11	田中洋史さん	38
第10回	8/25	今井雄介さん	39
第11回	9/8	菊入喜三郎さん	37
第12回	9/22	田所和雄さん	37
合　計			521

平成17年度は、閲覧室と行事を合わせて、延べ1,776人の皆様からご利用いただきました。ありがとうございました！

(稲垣美知子)

インフォメーション①

●『長岡市政100年のあゆみ』発刊！

長岡市が誕生してから現在までの100年(明治39年～平成18年)を約800点の写真と詳細な年表で1年ごとに紹介。歴代市長や議長の顔写真、平成の合併9市町村のあゆみも収録し、長岡市の近現代史やまちづくりの歴史に興味がある方におすすめです。

- 頒布価格　2,500円
- 体　　裁　B5判327ページ
- 初　　版　1,500部
- 文書資料室、各図書館、市内各書店で好評販売中！

シリーズ 災害と文書資料室（2）
歴史資料所在確認調査の実施

実施のきっかけ

文書資料室では、昨年10月から地域資料の流失や破損状況の把握と歴史資料の現状確認のため、歴史資料所在確認調査を実施している。被災資料の一時保管が相次ぎ、職員が業務に忙殺されているなかで、調査に踏み切ったのは、中越大震災が土蔵を壊す地震であったにもかかわらず、被害の大きかった東山沿いの地区からの資料相談が少なかった状況があった（廃棄の恐れが想像されたのである）。

平成17年度調査の概要

調査にあたって、まず「歴史資料所在確認調査事前アンケート」を行った。このアンケートは、被害状況や歴史資料の所在有無、保存状況、保管について照会する内容で、旧長岡市内の資料所蔵者258件（市史編さんの際の資料所蔵者リストから）に送付した。

その結果、約半数の126件から回答が寄せられ、80%になんらかの被害があったことがわかった。保存状況については、80%以上が特に何もしていないと回答し、資料の多くが市史編さんの際に整理し、返却したままの状況にあることがわかった。保管については、今後とも自分で保管するが約66%であった。

歴史資料所在確認調査は、県立文書館が平成4年から行っている所在調査を参考にした。旧長岡市内の東山地域を対象に10月から11月に4回実施し、31件を調査した。調査先は市史編さんの際の資料所蔵者リストから地区内の調査先を抜き出し、事前調査を行い、日程の合った家とした。調査は、長岡郷土史研究会と共催で実施し、のべ42人から参加してもらった。

平成17年度の調査では、7・13水害と中越大震災によって、数%の家の資料の失われたことがわかった。災害以外の理由で資料の消失していた事例も多く、不明を含めると約20%の家の資料が確認できないことも判明した。

▲調査後のミーティング
（10月8日、山本コミュニティセンター）

今後の取り組み

部分的とはいえ、市史編さん事業が終了してわずか10年間で、20%の資料が確認できなかったことは衝撃的な事実であり、早急に全市の所在調査が必要であろう。文書資料室では、今年度も引き続き歴史資料所在確認調査を実施することにしており、7月～11月に川西地域、8月に小国地域（県立文書館と合同）を予定している。

県立文書館は、所在調査の目的の一つを「ネットワーク作り」としている。文書資料室でも、市と所蔵者と地域（市民）からなるネットワークが作れればと考えている。

（金垣孝二）

市史編さんでお世話になった所蔵者の皆様へ

古文書などの保管や整理の方法についてお困りの方は、お気軽に文書資料室までご連絡ください。目録の作成や保存方法など室員が直接訪問してご相談に応じます。

《平成17年度歴史資料所在確認調査の概要》

回	月/日	地　　区	調査員数	調査件数	事前調査などを含んだ全体の調査件数
1	10/8(土)	山本・新組・富曽亀地区	11人	10件	17件
2	10/29(土)	宮内・山通・豊田地区	11人	8件	18件
3	11/5(土)	十日町・六日市・太田地区、補充調査（山本地区）	9人	4件	11件
4	11/19(土)	栖吉地区、補充調査（六日市地区）	11人	9件	15件
合　　計			42人	31件	61件

連載　長岡の碩学（2）

伊東多三郎 1909.2.10－1984.10.29

長岡市立中央図書館に「伊東多三郎文庫」（以下「文庫」）がある。古志郡富曽亀村亀貝（現長岡市亀貝町）出身の歴史学者・伊東多三郎の旧蔵資料で、図書・抜刷・漢籍・国書・手稿類など約 8,500 点を収蔵する。

伊東多三郎は、旧制長岡中学校、旧制新潟高等学校、東京帝国大学文学部国史学科を卒業。教科書でも使われる「幕藩体制」の語は、伊東の論文（『新日本史講座』、昭和 22 年）により一般的になったといわれる。昭和 29 年４月に東京大学史料編纂所教授に就任。昭和 44 年３月に退官し、東京大学名誉教授の称号を贈られた。

伊東の研究領域は、自身が編集・構成した『近世史の研究』（吉川弘文館）に集約されている。「信仰と思想の統制」、「国学と洋学」、「文化論・生活論・学問論・史学論」、「幕府と諸藩」、「領国・鉱山・貨幣」の全 5 冊である。「文庫」中には、伊東が本書の編集原稿に使用したと考えられる雑誌が残されている。例えば、「庶民生活試論」を掲載する『史苑』第 15 巻第３号（立教大学史学研究室、昭和 18 年）には、表紙右上に「③①」（第三冊第一部に収録指示の意か）と鉛筆書きがある。訂正頁には付箋が貼られ、「ゴチ」「アキ」といった校正用語が付されている。校正以外にも、越後国内の郷塾と塾主を列記したページには、「高橋竹之助　誠意塾（長岡）」など、特徴ある万年筆の文字で数多くの書き込みがなされている。これらをさらに分析すれば、推敲過程とともに未発表の知見の発掘も可能であろう。

▲『草莽の国学』自筆原稿と初版本（昭和 20 年）

「文庫」には、研究ノートや講義ノート、越佐の郷村や藩政に関する調査資料も残されている。

伊東はまた、自治体史の編さんにも積極的に取り組んだ。水戸市史の編さんには、「高い学問性と豊かな郷土性と平明な文章」を編集方針に、昭和 34 年から亡くなるまで関係した。「文庫」に筆写原稿などの膨大な編集資料が残されている。県内初の本格的な自治体史である小千谷市史では編集委員会監修を務め、新潟県史（編集委員会顧問）や長岡市史の編さんにも学問的な影響を与えた。

伊東は、『水戸市史』上巻「総説」で、郷土史研究の意義を普遍的に謳っている。歴史意識と郷土意識の融合を目指した伊東の学問的な姿勢を後世に伝える必読の文章である。（田中洋史）

関連情報

「伊東多三郎文庫」は、遺族から長岡市へ寄贈され、長岡市立中央図書館が特色資料の一つとして所蔵している。そのうち、図書・抜刷は冊子目録が作成され、閲覧に供されている。ノートや調査資料などの手稿類は公開に向け準備中で、一部は今秋の第 11 回所蔵資料展で展示予定である。

【参考文献】

・「伊東多三郎論文略目録」（『近世史の研究』）
・「「水戸市史」中巻を終るにあたって（座談会）」（『水戸市史』中巻（五）付録、平成２年）
・『漢籍　整理と研究』第 7 号（平成９年）
・井上慶隆「伊東多三郎　日本近世史の研究者」（『ふるさと長岡の人びと』、平成 10 年）

インフォメーション②

●市史双書№45『山本五十六の書簡』発刊！

文書資料室所蔵の高野栄子家文書を翻刻。明治 36 年から昭和 17 年までに、山本五十六が世界各地から実兄の高野季八に宛てた書簡と絵葉書を写真入りで紹介しています。青年期の山本五十六の人間像、そして、古文書の解読に興味のある方におすすめです。

・頒布価格　1,500 円
・体　　裁　B5 判 120 ページ
・初　　版　600 部
・文書資料室、市内各書店で好評販売中！

古文書クイズ 弐
～ちょっと一息～

ヒント
①お魚
②お正月の食べ物
③お酒のおつまみ

①～③の読みと住所・氏名・電話番号を記入のうえ、はがき・FAX・メールで文書資料室へお送り下さい。３問すべてに正解した方の中から抽選で５名の方に粗品を差し上げます。平成 18 年９月１日（金）必着です。なお、当選は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

【前回の答え】
①にんじん　②するめ　③だいだい

《平成 17 年９月以降に新たに公開した所蔵資料一覧》　※寄贈年月日順。☆印は被災資料。

☆成願寺温泉養壽館文書（近代、温泉旅館資料、213 点、高野興一氏寄贈）
・福原元八郎家文書（近代、山本五十六の写真、１点、同氏寄贈）
・田中豊一家文書（近代、図書『歴史写真』、18 点、同氏寄贈）
☆大関誠一氏収集資料（近代、戦前の市内映画館パンフレット・チラシ、383 点、同氏寄贈）
・近藤素司家文書（近代、大正天皇肖像写真、２点、同氏寄贈）
☆平石稔氏旧蔵図書（現代、図書『赤い鳥』復刻版、19 点、同氏寄贈）
☆樺沢正氏旧蔵図書（現代、歴史関係図書資料、56 点、同氏寄贈）
・渡辺隆氏収集資料（現代、昭和 39 年新潟国体関係資料、19 点、同氏寄贈）
・与板・長谷川家資料（明治期、４点、長谷川一夫氏寄贈）
・片田町・橋本家資料（近世、３点、橋本和良氏寄贈）

●資料整理ボランティア短信

中越大震災で被災した歴史的資料の整理を行うため昨年 10 月から活動を開始しました。古文書、近現代資料、資料運搬の３チームに分かれて、昨年度はのべ 229 名の皆様からご参加いただきました。今年度も新たに 17 名の方を加えて活動を開始しています。

和気あいあいとした楽しい活動です。資料整理ボランティアは、随時募集していますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

▲「新年の集い」（研修会・合同作業）にて
（１月 13 日、互尊文庫）

●文書資料室入口前ギャラリーの展示予定

・８月～10 月　長岡市制 100 周年記念！
～なつかしの写真展～
・11 月～１月　絵図にみる江戸時代の災害

《編集後記》▽久しぶりの第２号です。その間、室員の異動がありました。１月に星純子主任が転入（寺泊町役場から）、３月に稲川明雄室長が退職、４月に金垣孝二室長となりました。▽似てる！と評判の井上智子さんと五百川香織さんによるイラストを加えてみました。スタッフ一同、緑豊かな互尊文庫２階の文書資料室で、似顔絵に負けない笑顔でご利用をお待ちしています。▽今年度も文書資料室をよろしくお願いします。（H･T）

平成 18 年７月１日発行
編集・発行：長岡市立中央図書館文書資料室
スタッフ／金垣孝二、星純子、稲垣美知子
小林良子、田中洋史
〒940-0065　新潟県長岡市坂之上町 3-1-20
（長岡市立互尊文庫２階）
TEL0258-36-7832、Fax0258-37-3754
E-mail：monjo@nct9.ne.jp